

(別紙)

平成 年 月 日

共 用 設 備 購 入 届 出 書

主たる使用者の所属部局の長 殿

所属部局  
職名・氏名 印

以下のとおり、複数の科学研究費助成事業による共用設備の購入を届け出ます。

1. 共用設備名：（品名・規格・数量）  
設置場所：
2. 見込金額 金 円
3. 共同購入者並びに充当する経費及び負担率
4. 必要理由
5. 負担率算出根拠

共 同 購 入 者 名 簿

設備名 (型式)

No.	共同購入者 氏名・所属・ 職名	充当する経費 (研究種目・プロジェクト番号・ 所管・執行目的)	研究期間	補助金又は 基金の区分	負担率 (%)	同意欄 (確認印)
①						/
②						
③						
④						

(別紙)

平成 年 月 日

共用設備購入届出書

主たる使用者の所属部局の長 殿

所属部局

職名・氏名

印

以下のとおり、複数の科学研究費助成事業による共用設備の購入を届け出ます。

1. 共用設備名：〇〇〇〇システム（△△△△－△△△）一式  
設置場所：××××棟××××研究室

2. 見込金額 金〇, 〇〇〇, 〇〇〇円

3. 共同購入者並びに充当する経費及び負担率  
別添「共同購入者名簿」のとおり

4. 必要理由

共同購入を行うことにより当初予定していた設備よりも上位機種が可能となり、本共用設備を導入することにより各研究課題の一層の深化が可能となるため。また、同様な設備を重複して調達することがなくなるため、設備の稼働率が向上し有効に活用が見込まれ、更に各研究課題の補助金を有効に活用することが可能となるため。

5. 負担率算出根拠

○「使用割合（見込）による按分」により算出する場合

現在のところ、各々の予定年間使用日数は①〇〇日、②△△日、③××日、④××日と見込まれている。これにより按分すると負担率は①が50%、②が30%、③が10%、④が10%を負担することが妥当と判断される。

○「研究課題数による等分」により算出する場合

本共同購入に要する経費については、共同購入者が等分に経費を負担する。

記載例

共同購入者名簿

設備名(型式) ○○○○システム(△△△△-△△△)一式

No.	共同購入者 氏名・所属・ 職名	充当する経費 (研究種目・プロジェクト番号・ 所管・執行目的)	研究期間	補助金又は 基金の区分	負担率 (%)	同意欄 (確認印)
①	○○○○ △△研究科・ 教授	(研究種目) (プロジェクト番号)	○年計画 ○年度目	補助金	50	
②	×××× □□研究科・ 教授	(研究種目) (プロジェクト番号)	○年計画 ○年度目	基金	30	Ⓔ
③	×××× □□研究科・ 准教授	所管名称(所管コード) 執行目的(執行目的コード)	—	—	10	Ⓔ
④	×××× □□研究科・ 教授	奨学寄附金名称 所管名称(所管コード) (プロジェクト番号)	—	—	10	Ⓔ